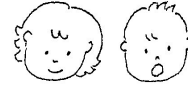


こぐま

2023年9月1日
社会福祉法人多摩福祉会 こぐま保育園
東京都多摩市永山3-5
042-375-4677

おつきさま
えらいの
かがみのようになったり
くしのようになったり
はる なつ あき ふゆ
にほんじゆうを てらす (わらべうた)



* プール楽しかった! *

ほんとうに、暑かった夏! まだまだ暑いですが、風も出てきていて本日でプールは終了です。天気の流れに見舞われず、プールを満喫できた夏でした。

夏のはじめ、プールにどきどきして泣いていた子も、夏の終わりには楽しい体験を通して少しずつ水に親しみ、リラックスした表情が見られるようになりました。プールの最後、大人に両手を伸ばすAくん。足はぶらぶら〜と力を抜いて、大人に手をひいてもらってすすむ「ジェットコースター」をしてもらおうと、期待のまなざしで待っていました。大人が手を引くと、「もっともっと〜!」と嬉しそうに微笑み、その姿にほっこり! 大きい子は顔付けやふし浮きなど、友達の姿に刺激されながらチャレンジする姿も見られていました。大好きな友達と一緒にいるプールは楽しい気持ちも膨らみ、保育園ならではの特別な時間ですね。



雷も光化学スモッグが出る日がほぼなく、どんだんさんだけで入る午後のプールも例年より多く入れました。今年度のどんだんプールはクラス混合の2グループに分けて入りました。他のクラスのお友達と遊んだり、顔つけや呼吸練習に挑戦したりして一緒に成長につながりができました。今後の行事などが楽しみです。

ご家庭では食事、睡眠などを整える生活リズムづくりと健康管理、プールの準備などのご協力ありがとうございました。

身についた快い習慣を継続し、健康な体づくりに結びつけていけていきま

* カブトムシひとり死んだ?! *

なんだかどきっとする言葉ですが、昆虫好きが集まる事務室前の昆虫コーナー。毎日観察を欠かさない子どもたちは変化に敏感です。動かなくなったカブトムシを発見したお友達の問いかけです。

小さな小さな卵だったカタツムリも大きくなりました。初冬に生まれた卵が冬を越してカタツムリの赤ちゃんが誕生したときは「え?ほんとに?生まれたの?」と虫好きの子どもたちや保護者の皆さんと大騒ぎ。米粒より小さな殻をしまったカタツムリが少しづつ大きくなってきて、もしかしたらまた卵を産むかもしれません!

カタツムリを捕まえてきてくれて、お世話をしているのは、にじのおうちの小林保育士です。蝉の標本も作って飾ってくれました。カブトムシのお父さんは針尾副園長。お姉さんは環境衛生職員で「ゼリーがないです。昆虫食堂に行かないと!」と毎日の餌やり担当です。みんな自分からやっているのので他の事務室職員は変化に驚いばかりです。

お部屋でもたくさん昆虫を飼育していて、生まれた幼虫をいろいろな職員が関わって子どもたちと大切に育てて、育ててみたい子どもたちの家庭に分けています。



< 9月の予定 >

- 1日(金) 合宿懇談会
プール終了
- 5日(火) 身体測定(やま・そら)
- 7日(木) 身体測定(うみ・かぜ)
- 11日(月) 身体測定(にじ・もり)
- 14日(木) どんどん聴力検査
(やま・かぜ)
- 15日(金) どんどん聴力検査
(そら・うみ・もり)
- 21日(木) 避難訓練(引き取り訓練)
- 25日(月) 健康診断(にじ・うみ・かぜ)
- 29日(金) 誕生会

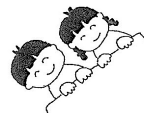


*今年度の年長合宿は園内で宿泊して

夜の保育園を楽しみます *

新型コロナ発生までの合宿は、外部に1泊、園に1泊の2泊で行っていましたが、ここ数年、新型コロナ予防対策のために行事を規制せざるおえない状況があり、その中での児童や職員の姿を踏まえ、今年度は昨年度同様、保育園に1泊して夜の保育園を楽しむこととしました。

夜の保育園ではいろいろな楽しみがあります。どんどんあこがれて大きくなり、どんどんになった子どもたち。どんどんしか味わえない体験を子どもたちと話し合いつつ、一緒に作りあげていきたいと思っています。その中の子どもたちの姿をまたお伝えします。



< 9月の避難訓練の際にご協力を願います >

日時: 9月21日(木)
内容: 10時避難訓練。永山小までの3次避難、お迎え時間帯の引き取り訓練。

< お願いします >

- ①クロークには靴を必ずおいてください。
- ②お迎え時間に引き取り名簿にサインをお願いいたします。(お迎え時間は通常通りで大丈夫です。)

< 健康カード使用を9月末に終了します >

新型コロナ感染症予防対策として使用してきました健康カードですが、10月より日課表と連絡帳に記入する連絡方法に変更いたします。長い間ご協力ありがとうございました。



< 法人新施設 しろくま保育園 >

2024年4月練馬区にオープン!!

職員募集中!!

ぜひお知り合いにご紹介ください>

求人パンレットを用意しております。ぜひご協力をお願いいたします。



< 子育ての悩み……話せていますか? >

子育てトークでおなじみの尾木ママの書籍「こわい顔じゃ伝わらないわよ」をご存じですか?

何回伝えても同じことを繰り返す。大きくになっているのに……「わかってる?!」と叫びたくなるときがだれでもあります。

この本によると「脳は恐怖を与えると委縮して機能しなくなり、記憶しづらい」そうです。だから「怖い顔をしないで伝えましょう」という事ですが、そんなことを言っても怒りたくなるのが子育てであるあるです。

大人の怒りを伝えず、意図したことを子どもに伝えていくには……。まず大人が冷静になることではないでしょうか?

そのためには大人も相談したり、愚痴をこぼせる相手が必要です。そんな仲間や相談機関を頼るという方法があります。子育ては本当にうまくいきません。頼ることで気持ちが楽になり、子どもを違う角度から見えていくことができるかもしれません。

子どもの側から見ると、家族や年上の子どもたちはいつもいつも真似っこの対象です。真似っこの積み重ねで行動を修正してきます。大人がまわりに頼る姿も感じています。

困ったときに「こんなことで困っているんだ。一緒に考えてください」と発信できる力は大切な力です。心細いときに回りを頼る力は困難を乗り越える力となることでしょう。

